指導と評価の年間計画（シラバス）

学校番号	1205
大阪府立岬高等学校　総合学科	

令和　　2 年度　　芸術　　科

教科	芸術　　科	科目	書道Ⅰ	単位数	2　　単位	年次	1　年次
使用教科書（出版社）	書道Ⅰ（東京書籍）						
副教材等（出版社等）	なし						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・芸術科書道では,漢字仮名交じりの書、漢字の書、仮名の書などを学習し、表現や鑑賞活動を通して、自分らしい文字を書くことをめざしま　す。

・多様な書の美に触れることにより、書を愛好する心情を育てます。

2．学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：書への関心・意欲・態度	b：書表現の構想と工夫	c：創造的な書表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	書の表現要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図にもと基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	学習活動への参加状況 ワークシート 提出作品	提出作品 ワークシート 学習活動への参加状況	提出作品 ワークシート 学習活動への参加状況	学習活動への参加状況 提出作品 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	書写から書道へ 漢字の書	書写から書道へ	・書写の確認	○		○		a:中学校の書写で学習したことを確認し、漢字と仮名の調和と線質について関心をもち、表現を高めようとしている。 b:用具用材によって線質や表現が変わることを理解している。 c:全体の構成を考えた表現の技能を身に付け表している。 d:基本的な姿勢・執筆法について幅広く理解している。	学習への参加状況 ワークシート 提出作品
			・用具・用材		○				
			・姿勢、執筆			○	○		
		楷書	・楷書の用筆法	○				a:古典の臨書・鑑賞を通して楷書の美とその技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。 b:自己の表現のねらいを達成するために、古典のもつ伝統的な美を感受し、表現を構想し工夫している。 c:楷書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d:鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、楷書のよさや美しさを感じ取っている。	学習への参加状況 ワークシート 提出作品
			九成宮醴泉銘（臨書・鑑賞）	○		○	○		
			孔子廟堂碑（臨書・鑑賞）	○		○	○		
			鄭羲下碑（臨書・鑑賞）		○		○		
			牛橛造像記（臨書・鑑賞）	○			○		
2学期	漢字の書	行書	・行書の用筆法	○				a:行書の基礎・基本を身に付け、書写能力の向上に努めている。 b:古典の臨書・鑑賞を通して行書の美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を構築している。 c:行書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。 d:鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、行書のよさや美しさを感じ取っている。	学習への参加状況 ワークシート 提出作品
			蘭亭序（臨書・鑑賞）		○	○	○		
			風信帖（臨書・鑑賞）		○	○	○		
			争坐位文稿（臨書・鑑賞）		○	○	○		
	漢字仮名交じりの書	いろいろな線による表現の広がり	表現の比較	○	○	○		a:線質の違いによるさまざまな表現のよさや美しさに関心をもち、表現を高めようとしている。 b:線質が漢字と仮名の調和を図る重要な要素であることを理解し、表現を工夫している。 c:紙面構成による、表現の違いを理解し、書の良さや美を感じ取っている。 d:漢字と仮名の線質の調和による美を感じ取っている。	学習への参加状況 ワークシート 提出作品
		紙面構成のバリエーション	文字の大きさと全体構成		○		○		

3学期	仮名の書	仮名の成立	・仮名の種類	○			○	a:仮名の書の成立に関心をもち、意欲的、主体的に理解しようとしている。 b:仮名の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。 c:仮名の基本的な線質と用筆・運筆との関係を理解し、創造的な技法を身に付け、表している。 d:仮名の書の伝統と文化について関心をもち、そのよさや美しさを感じ取っている。	学習への参加状況 ワークシート 提出作品
		仮名の筆使い	・いろいろな線			○			
		仮名の単体	・古典から集字した平仮名			○			
		連綿	・連綿の分類		○	○			
		変体仮名 全体の構成	・平仮名と変体仮名		○	○			
			・散らし書き		○	○			